

教育隊修業後に勤務する主な職域

海上自衛隊での勤務内容は、主に護衛艦や潜水艦での射撃・魚雷・エンジン、主に航空部隊での整備・管制・消防、主に陸上部隊での経理・施設・音楽など約50種にわたります。
あなたのプロフェッショナルな活躍のステージを見つけて下さい。

航海



主に艦橋において、発光・手旗・旗流信号の送受信、舵の操作。

射撃・射管



護衛艦において、砲、ミサイルを操作し、各種目標に対する攻撃を実施。

通信



通信、暗号の作成及び翻訳、通信機材・暗号器材及び関連機材の操作整備。

電子整備



電子機器(各種レーダー通信機器等)の整備。

運用



船体の整備や錨・索具・帆布などの船具の操作、ボースンと呼ばれる船乗りらしい仕事。

電測



作戦の中心となる水上・対空レーダー、電波探知装置の操作。

航空電機計器整備



航空機の電気装置、動力計器、自動操縦装置等の整備。

航空発動機整備



航空機のエンジン、プロペラ等の整備。

応急工作



艦内で火災・浸水が発生した場合の対処、修理のための溶接や木工も実施。

水測



水中目標探知装置を操作して潜水艦の捜索を実施。

航空武器整備



航空機に搭載する武器弾薬の整備と操作、落下傘の補修など。

航空機体整備



航空機の胴体及び翼の外板、構造部材などの整備や修理。

衛生



隊員の身体検査・治療、診察にあたる医官の補佐や患者の看護など。

機関



エンジン(ガスタービン、ディーゼル等)の運転、整備。

航空管制



空港で離着陸する航空機、飛行場周辺を飛行する航空機を、無線・レーダーを使って誘導。

気象海洋



気象観測、天気図等の作成、気象関係の情報の伝達。

補給



文具・制服・修理部品・武器など、物品の調達、保管、輸送。

施設



基地内の施設や道路の建設・管理、インフラの整備、滑走路の修繕など。

地上救難



大型化学消防車等の操縦・整備・防火の技術を習得し、航空機の地上救難を実施。

給養



隊員の食事調理、糧食管理。